議題15

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの</td><td rowspan="4">分野</td><td>□ 総務文教</td></tr>
<tr><td colspan="2">□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの</td><td>□ 社会環境</td></tr>
<tr><td colspan="2">□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの</td><td>■ 経済</td></tr>
<tr><td colspan="2">□ その他（　　）</td><td>□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">農政部 農業技術課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>**件名**</td><td colspan="4">**長野県産そばの更なるブランド化に向けた取組みについて**</td></tr>
<tr><td>**提案市**</td><td colspan="4">伊那市</td></tr>
<tr><td>**提案要旨**</td><td colspan="4">長野県は、栽培条件に適していることから、古くから良質のそばが生産され、「信州そば」として全国的に知られている。
現在、県では「信州ひすいそば（長野S11号）」を県産そばのブランドとして振興しているところであるが、県内で数多く生産されている高品質の他品種についても、高値での流通に向けたブランド化に取り組んでいただくよう要望する。</td></tr>
<tr><td>**提案理由**</td><td colspan="4">県内で作付けされているそばの品種の多くは、「信濃１号」、「しなの夏そば」である。これらの品種は中山間地域などで、米の転作作物として作付けされており、その栽培費用は水田活用の直接支払交付金等により賄われていることから、安定した収入が得られていない。
これらの品種についても、「信州ひすいそば」と同様に県がブランド化し、高付加価値化が図られれば、農家の収入の増加と生産意欲が向上すると考える。また、収入の安定及び生産意欲の向上は、作付けの継続性をもたらし、荒廃地対策、里山の景観保全、獣害対策にもつながる。</td></tr>
<tr><td>**現況及び課題等**</td><td colspan="4">本市では、信州大学農学部、JA上伊那等と連携し、そばのブランド化の取組みとして、「信濃１号」の普及を図るため、積極的に施肥を行うことで品質や収量を確保できる栽培方法として「プレミアム信州伊那そば栽培指針」を策定している。また、在来種である「入野谷在来」の振興も行っており、これらの取組みが評価され、令和３年度第33回全国蕎麦優良生産表彰事業の農林水産大臣賞を受賞したが、そばは品質が良くても価格差がつかない傾向にある。
ブランド化、差別化に成功している県等もあるので、特に高品質なそばは高価格で販売できるよう県としても取り組んでもらいたい。
なお、「信州ひすいそば」は、本市を含む上伊那地域でも以前生産されていたが、他の品種との交雑を防ぐために離れた圃場を確保する必要がある等の理由から、現在は生産されていない。（JA上伊那聞き取り）</td></tr>
<tr><td>**関係法令**</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>